

沖縄海洋博

冬の研修旅行募集

特集

広く、大きく、深い中国。雄大なスケールと墨絵のよだれ風光、血と涙の山河を留めない大陸に新しい「ニイハオ」の国八億人の新しい生活と素顔があった。

(1) 日本と中国の社会体制は

ホーテル服務員なども国際的な友好と親善を深める仕事の一端を担当する公人で、人と人との関係は完全に對等ではない。ホテルや列車のコンパートでも鍵をかけられることもない、忘れもの、落し物のはなはだ珍重される。服装も日本のみならぬ返りくじら、チ

■ 財 金修協は夏季についで沖縄国際海洋博覧修旅行を十二月末から一月にかけて実施する。となり、近く全修協各都道府県支部と協力機関を通じて各学校へチラシを配布、募集を開始することになった。締切りは十一月二十九日。いずれも三泊四日で、空港別のお客と会費、コースは次のとおり。

▼ 福岡空港発着

①十二月二十五日 向二十八日
(百名) ②十二月二十六日 同二十九日
(百名) 会費おとどな八万一千九百円、小学生六万八百円、幼児一万八千八百円(航空運賃のみ)

▼ コース

近畿日本ツーリストでは、沖縄県と海洋博協会後援、全日空の協力で、各都道府県知事督同でヤング・グループ・ゲループで冬の研修旅行募集を行なう。

①名空港一(約1時間) - 沖縄

近畿日本ツーリストでは、沖縄

県と海洋博協会後援、全日空の協

レント・メント海洋博一を募集

業所。

いのである。わが国の至るところ

す」といって、人民とは区別し

られるが、一度と起きない決意

を立てるが、一度と起きない決意



⑥

井の頭池

水が乾れたお茶の地に来たり、池の水が甘美なと賞し、茶の水としてくませ、また、三代将軍家光もこの地を愛し、江戸城まで水を引くよう命じた。かたわらのコブシの木に小刀で「井之頭」と彫ったことから起きたとある。

家康が愛用したお茶の本井戸は、約150年の歴史を持つ。井の頭池は広さ4万5千五百坪

井の頭池の歴史

水が乾れたお茶の地に来たり、池の水が甘美なと賞し、茶の水としてくませ、また、三代将軍家光もこの地を愛し、江戸城まで水を引くよう命じた。かたわらのコブシの木に小刀で「井之頭」と彫ったことから起きたとある。

家康が愛用したお茶の本井戸は、約150年の歴史を持つ。井の頭池は広さ4万5千五百坪

弁財天信仰で栄える

徳川家康が愛飲したお茶の水

三浦富雄

■水が乾れたお茶の水

井の頭という名称について、「江戸名所図絵」(齊藤幸雄編・長谷川雪画、天保七年)によると、「慶長十一年(1606)」に「井の頭池」が発行されました。この頃、井の頭は、まさに「井戸の頭」として、その名前が定められました。

井の頭は、江戸時代初期の茶文化において重要な役割を果しました。江戸の茶業は、主に井の頭周辺で発展しました。そこで、井の頭は、茶の生産地として、また、茶の販売地としても重要な位置を占めました。

井の頭は、茶の生産地として、また、茶の販売地としても重要な位置を占めました。

瑞竜寺総門・仏殿および法堂

(国指定)

國鐵・高岡駅近くにあり、曹洞宗で高岡と号す。山上薬石衛門が十一年を要して完成しました。

前田利長の靈牌を安置するほか、織田信長夫妻とその子信忠の廟があります。

總門・裏門で木造素木の單層で屋根は切妻造り、棟瓦葺です。

堂々たるもので、正面の扉は、城郭に類する

越中・加賀は、がつてみましょう。

瑞竜寺の横顔

その規模の大さびあります。これに反し、越中では、がつてやかさないが、彫刻を施した重厚なものが多くあります。

ここ越中・加賀は、外様の名の雄藩であり、徳川幕下生きぬく数々の苦労が秘められていました。これに反し、越中では、がつてやかさないが、彫刻を施した重厚なものが多くあります。

富山県の文化財

<6>

★松谷古墳(国指定)

城として築いたもので、その設計は高山右近が行なっています。高

は

萬葉ばかりの二上山が、ゆるやかに雨晴の海岸にいたるといひの

台地にあります。

一部が現存しています。

■おわりに

第一号以前後田壇は金長六二

第一号以前後田壇は金長六二